



発行：香川県中讃農業改良普及センター 〒765-0014 善通寺市生野本町一丁目1番12号
TEL 0877(62)1022 FAX 0877(62)1553
Email chusannokai@pref.kagawa.lg.jp URL http://www.pref.kagawa.lg.jp/chusannokai/

中讃管内の新しい動き

環境にやさしい グリーンな栽培体系への転換に向けて

グリーンな栽培体系への転換に向けた実証



普及センターでは、イチゴについては、生物農薬や紫外線照射などの部分的な導入から一体的に体系化した防除体系として実証に取り組みます。



SDGsとの関係

昨年度、国は、持続可能な食料システムの構築に向けて中長期的な観点から、調達・生産・加工流通・消費といった各段階での取組みとカーボンニュートラル等環境負荷軽減のイノベーションの推進を目的に「みどりの食料システム戦略」を策定しました。

同戦略のメニュー事業の「グリーンな栽培体系への転換サポート」では、みどりの食料システム戦略の実現に向けて、それぞれの産地に適した「環境にやさしい栽培技術」と「省力化に資する先端技術等」を組み合わせ「グリーンな栽培体系」への転換を推進するため、産地に適した技術を検証し、定着を図る取組みを支援することとしています。

本年度、普及センターでは同事業を活用してイチゴを対象に、収量に大きな影響を及ぼす「うどんこ病」と「ハダニ」に対して、化学合成農薬に依存しない複数の技術(紫外線の照射、微生物農薬や天敵農薬の利用など)を組み合わせ体系的な防除を展示まで実証していくことで、グリーンな栽培への気運の醸成や栽培マニュアルの作成、講習会の開催による地域全体への波及を目指していくこととしています。

麦わら・稲わらは土づくり資源として活用しましょう



麦わら・稲わら等の有機物は水田の「土づくり」に有効な資源として活用しましょう。

わら等のすき込み利用の注意事項は以下の4点です。

- ①田植前、代かき作業の障害となる”浮わら”を防ぐため、麦類の収穫時に長め(15cm程度)にカットしましょう。
- ②荒おこしは、作業速度を遅くし、できるだけ深く耕起することで、土と良くまぜることがポイントとなります。
- ③用水を入れやすい水田は、代かきの2日前までに入水し、麦わらに十分水分を含ませた状態で代かき作業を行います。
- ④代かき作業は、土が7割程度見える浅水の状態で、ロータリーの速度を低速にして「練りこむ」ように行います。

ジャンボタニシ(スクミリンゴガイ)の春期対策



ジャンボタニシは、土中で越冬し春期(水温15℃以上)になると活動を開始します。水稻を食害し、初期生育の遅れや欠株の発生による減収を引き起こすため、次の取組みを実施し被害防止を図りましょう!

【水口へのネットの設置】

- ・タニシは水路でも越冬します。
- ・水口へ2mm目合程度の網を設置し、ほ場内への侵入を物理的に防止しましょう。



【タニシに登録のある主要な薬剤】

種類	製品例	効果	特徴
メタアルデヒド	スクミノン、ジャンボたにくん、メタレックスRG粒剤	殺貝、食害防止	誘引作用がある。
磷酸第二鉄	スクミンベイト3、スクミンブルー	殺貝、食害防止	有機JAS規格に適合。使用時期・回数に制限なし。
チオシクラム	スクミハンター	食害防止	摂食行動の抑制。徐々に溶けるので多雨時でも効果が見込める。
カルタップ	バダン粒剤4	食害防止	摂食行動の抑制。
ペンスタップ	ショウリョクジャンボ、ルーバン粒剤	食害防止	摂食行動の抑制。除草剤
IBP粒剤	キタジンP粒剤	殺貝	いもち病殺菌剤

使用基準を遵守し適切に散布しましょう!

【ほ場の均平化と浅水管理】

ジャンボタニシは、水中でない摂食行動ができないため、水深4cm以下(理想は1cm以下)では食害が大きく抑制されます。

移植後3週間程度(稲5葉期頃)を目安に浅水管理を実施し、被害を防止しましょう!

ポイント

ほ場の傾斜や凹凸により水深が深くなった箇所では活発に活動するため、田植え前のほ場の均平化が重要です。



代かき前の様子

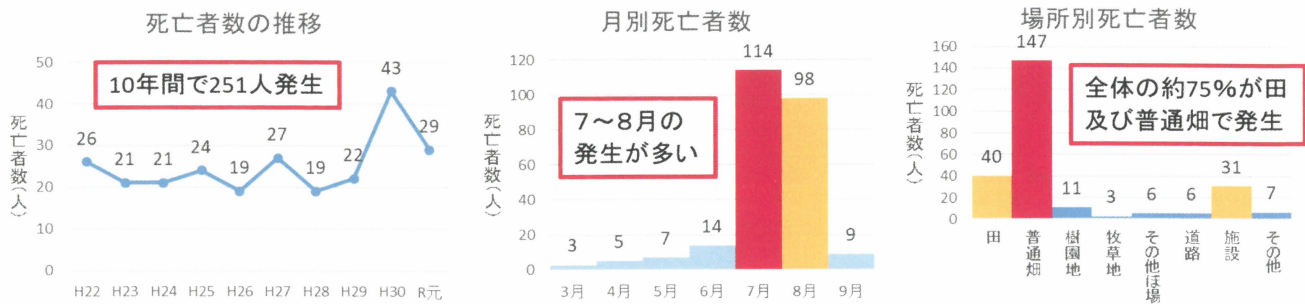


代かき後の様子

農作業中の熱中症に注意しましょう!

～熱中症は適切な予防をすれば防ぐことができます～

暑さに体が慣れていない梅雨明け直後に、農作業中の熱中症事故が多発しています。熱中症を正しく理解し、予防に努めてください。



夏の農作業で心がけること



- ① 日中の気温の高い時間帯を外して作業を行いましょう
- ② 作業前・作業中の水分補給、こまめな休憩をとりましょう
- ③ 熱中症予防グッズを活用しましょう
- ④ 単独作業を避けましょう
- ⑤ 高温多湿の環境を避けましょう



農林水産省Webサイト(https://www.maff.go.jp/j/seisan/sien/sizai/s_kikaika/anzen/nechu.html)を加工して作成
(温室内での作業は複数人で行いましょう。どうしても1人で作業する場合はご家族に一声をかけておきましょう。)

経営改善の第一歩は正確な農業経営の把握から!

個人コース 原則第1・2木曜日

6月2日・9日
7月7日・14日
8月4日
9月1日・8日
10月6日・13日
11月10日
12月1日・8日
1月5日・12日
3月23日

集落営農法人コース 原則第4木曜日

7月28日
8月25日
9月22日
13:00～ミニ講座
10月27日
10:00～ミニ講座
11月24日
12月22日
1月26日

今年も認定農業者及び新規就農者を対象とした農業経営管理講座を開催します。定期的に記帳し農業経営の現状やキャッシュフローを把握して中長期の農業経営の目標を立てましょう!!

また、令和5年10月よりインボイス(適格請求制度)が始まります。免税事業者の方では影響を受ける可能性がありますので、早めに今後の対応を御検討ください。

法人コースのミニ講座では、インボイス制度の情報提供を行う予定にしていますので、ぜひ御参加ください。内容は2回とも同じです。

- *開催場所は普及センターパソコン室です。
- *開催時間は10:00～16:00です。
- *必ず事前予約をお願いします。
- ***3年目以降の方は**御自身でパソコンとソフトを御用意ください。

退職者・転出者のお知らせ 管内の皆様には、大変お世話になり、ありがとうございました。

玉井敬三(病害虫防除所へ) 宮崎勝(西讃農業改良普及センターへ) 片本格(農業大学校(再任用)へ)
藤村耕一(西讃農業改良普及センターへ) 美馬仙治(東讃農業改良普及センターへ) 藤井寿江(小豆総合事務所へ)
小河原良文(農業生産流通課へ) 白井英治(みどり保全課へ) 竹内小百合(東讃農業改良普及センターへ)
大西保(西讃農業改良普及センターへ) 三木紀子(東讃農業改良普及センターへ)
鬼木あさひ(農業生産流通課へ) 井原里弥(病害虫防除所へ) 眞鍋雄二(農業試験場(再任用)へ)